

# 臨床腫瘍セミナー

平成24年11月20日(火) 18時~19時

福島県立医科大学 11号館(臨床講義棟) 第二臨床講義室

## 「転移性脳腫瘍

福島県立医科大学  
脳神経外科学講座 准教授

## に対する治療戦略」

# 佐久間 潤 先生

### 【講演内容】

日本における転移性脳腫瘍の頻度についての正確な統計は存在しません。臨床でみつかると転移性脳腫瘍は、剖検報告に比べてはるかに少数で、がん患者の6-10%とする報告が多いようです。それでも2005年に新たにがんと診断されたのは約68万人と報告されていますので、その8%=5万4千人に転移性脳腫瘍が発生していることとなります。原発巣によって、がん治療開始前・後の全身スクリーニングの方針は異なっていて、頭部の検査は必ずしも含まれていないのが現状です。一方で、大きな脳転移巣とそれに伴う広範な脳浮腫が生じてから紹介を受け、「どうしてもっと早く見つけられなかったのか?」と悔しい思いをすることも稀ではありません。

転移性脳腫瘍に対する標準治療についてのお話、  
転移性脳腫瘍に対する実際の治療について、  
手術ビデオも交えながらお話をしたいと考えています。

### 【講師紹介】

1990年に福島県立医科大学を卒業。脳神経外科学講座に入局。1994年に大学院卒業と同時に、ニューヨーク大学脳神経外科に留学、電気生理学、神経薬理学の研究に従事。帰国後術中モニタリング、画像診断、小児脳神経外科、神経内視鏡などを担当。

- ◆がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっております。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。

〈次回開催のお知らせ〉

平成24年12月18日(火)  
18時~19時